

NO. 41	キャンドルファイヤー (CDF)
--------	------------------

1 ねらい

ろうそくの炎を囲みながら活動することを通して、仲間と過ごす楽しさを味わい、集団の中で協力することの大切さを学ぶと共に、思い出づくりを図り、友情を深める。

2 活動の計画

- (1) 活動期間        通年
- (2) 所要時間        60分～90分
- (3) 人数            何人でも
- (4) 活動場所        体育館，多目的ホール
- (5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燭台 切り株型    2台</li> <li style="padding-left: 20px;">柄つき    14本</li> <li style="padding-left: 20px;">個人用   300個</li> <li>・燭台 (切株型) 用シート</li> <li>・衣装 (上下, 冠)</li> <li>・アンプ, マイク</li> <li>・CD カセットデッキ</li> <li>・延長コード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそく (団体で持参可)</li> <li style="padding-left: 20px;">*ろうそくは事務室で購入可能</li> <li style="padding-left: 20px;">・スタンプ用小道具</li> </ul>

(6) 主な係 (例)

ー係ー

- ・会場係・・・会場設定, 燭台やろうそくの準備・片付け
- ・誘導係・・・火の神, 火の子の誘導や配置, 衣装の準備・片付け
- ・効果係・・・マイク, テープ, 伴奏, 照明等の担当
- ・出し物係・・・事前に準備させておく。同じ種類のものに偏らないように配慮する。
- ・進行係・・・会の進行, 儀式の部とスタンプの部に分けてもよい。

ー役割ー

- ・営火長・・・団体のリーダー, 全体運営
- ・火の神・・・点火の言葉
- ・火の子・・・グループの代表, 誓いの言葉



燭台 切株型

3 活動上の留意点

- ① 音楽や照明を効果的に使って雰囲気作りをするとよいです。
- ② 展開例は様々あり, 集団の構成や野外活動の目的に合わせて工夫できます。
- ③ 会場を暗くしたときの安全を配慮し, 熱いろうそくにも気をつけてください。
  - \* 参加者の燭台は, 手に持つものではなく, 床に置いておくものです。
  - \* 中央の切り株に立てたろうそくのろうが床にたれて汚れたり, 滑ったりしないようにシートを使ってください。
- ④ 活動後は団体で清掃を行ってください。

4 展開例

プログラム	係	内 容
1. 入場 (照明は暗く)	全 員	①静かに入場し、燭台を中心とした円を作り座る。
2. 夜の歌	全 員	②「遠き山に日は落ちて」などを歌う。 1番は合唱, 2番はハミング
3. 火の神 火の子登場	火の神 火の子	③ハミングが始まったら、火の神はトーチをかかげて火の子を従えて入場し、場内を一巡してから所定の位置につく。
4. 点火の言葉	火の神	④手持ち燭台をかかげておごそかに述べる。
5. 分火	火の神 火の子	⑤火の神から火の子の燭台に分火する。
6. 誓いの言葉	火の子	⑥火の神から分火された後、燭台をかかげて述べる。
7. 点火	火の神 火の子	⑦中央の燭台と参加者の燭台に点火する。
8. 炎の歌	全 員	⑧「燃えろよ燃えろ」をおごそかに歌う。(ハミング等)
9. スタンプ (照明は明るく)	全 員	⑨班ごとに演技する。 ・割り当て時間を事前に示して、全体が楽しめるように進行する。 ・合間に全員参加のゲームなども入れ、盛り上げる。 ・演技者に対して拍手するなど、なごやかな雰囲気の中で進むようにする。
10. 営火長の言葉	営火長	⑩キャンドルファイヤーをふりかえって ・営火の意義について ・野外活動や団体活動について (規律・協同・友愛・奉仕等の掲示あり)
11. わかれの歌	全 員	⑪「今日の日はさようなら」を歌う。 歌の途中からハミングにしてもよい。
12. 退場	全 員	⑫静かに退場する。歌いながら、またはハミングしながらの退場でもよい。